

令和4年度 学校評価用紙（学校関係者評価）

評価は4点満点で採点

3.5以上はA+

3以上はA

2.5以上はB+

2以上はB

1以上はC

1未満はD

指導の重点		具体的実践事項	（1）自己評価		保護者への問い	（2）保護者	児童への問い	（2）児童	（3）学校関係者評価			
信頼される学校づくり	教職員の資質と専門性の向上	校内研修の充実、校外研修への積極的参加を通して、授業力を高める	A	A	本年度の授業参観等をご覧になって、先生たちの授業はわかりやすいと思いますか。	A	先生たちの授業はわかりやすいですか。	A	A	→		A=100%
		謙虚に自分を見つめ、教職員としての在り方を考え自己研鑽に努める	A									
	情報公開と学校評価の充実	学校便りや学年・学級通信をとおして、連絡事項だけでなく児童の日常の様子を積極的に発信する	A	A	本年度の学年だよりや学級だよりには、学級の様子が紹介されていますか。	A+	学年だよりや学級だよりには、学級のようなすがしうかいされていますか。	A+	A	→		A+=12.5% A=87.5%
		保護者の意見や感想、評価を真摯に受け止め、指導の改善に生かす	A		本年度の先生たちは、家庭からの意見等を受け止めていますか。	A+						
確かな学力の育成	小国型小中一貫教育の充実	小中合同研修を質・量共に充実させ、9か年で目指す姿を常に共有しながら連携を深める	B+	A					A	→		A+=17.6% A=82.4%
		学習規律と学びのスタイルの徹底を図る	A		本年度の授業参観をご覧になって、児童は授業のルール（目を見て最後まで話を聞くなど）を守っていましたか。	A+	じゅぎょうのルール（目を見てさいごまで話を聞くなど）を守っていますか。	A				
		発達段階に応じた自学の充実ー「家庭学習の手引き」と小国っ子ノートの活用を図る	A		本年度、お子様は、小国っ子ノートを活用していますか。	A+	小国っ子ノートを活用していますか。	A+				
	授業改善～主体的・対話的で深い学びの実現～	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、「かけはし学習」の質的充実を図る	A	A			じゅぎょうの中で自分でしっかり考えたあと友だちと考えたことについて話し合うかつどうがありますか。	A	A	→		A=100%
		ICTを積極的に活用し情報活用能力の育成を図る	A				じゅぎょうの中で、タブレットをつかってしらべたり、はっぴょうしたりするかつどうがありますか。	A				
	読書活動の充実と並行読書の推進	図書司書と連携し、教科等と関連させた並行読書、調べ学習を推進する	A	A			としょかんの本をつかったしらべ学習をしたり、じゅぎょうにかんけいのある本を読んだりしたことがありますか。	B+	A	→		A=81.3% B+=6.3% B=12.4%
		推薦図書・必読書、読書時間、目標冊数設定等を行い、読書への関心を高める	A		本年度、お子様は、本を読むことが楽しいと感じ、すすんで本を読もうとしていますか。	A	本を読むことが楽しいとかんじ、すすんで本を読もうと思いますか。	A				
	キャリア教育・体験活動の充実	小国の「ひと・もの・こと」を生かした学習活動を推進する	B+	B+	本年度、お子様は小国町のことを学習していると感じられますか。	A+	ことし、小国町のことを学習しましたか。	A	B+	→		A=47.1% B+=29.4% B=23.5%
		縦割班活動や地域の様々な世代との交流活動を推進する	B+		本年度、お子様から異学年の友だちのことを聞く機会がありましたか、	A	じぶんとちがう学年の人（おとなやお年よりも）といっしょにかつどうすることがありますか。	B+				
豊かな心の育成	小国小「3つの約束」の徹底	発達段階に応じた「気持ちのよいあいさつ」及び「適切な返事」を身に付けさせる	A	A	本年度、お子様は気持ちのよいあいさつと返事をしていますか。	A	きもちのよいあいさつやへんじをすることができましたか。	A	A	→		A=94.1% B+=5.9%
		授業、集会、行事等において、「目を見て聞く」ことの徹底を図る	A		本年度、お子様は人の話をしっかり聞くことができていますか。	A	話している人の目を見て聞くことができましたか。	A				
	いじめ・不登校への適切な対応	丁寧な観察やアンケート、教育相談等を通して、児童の状況を的確に把握する	A	A	本年度の先生たちはいじめや不登校に対して、適切に対応していますか。	A	いやなことやつらいことがあったとき、せんせいたちは、そうだんをきいてくれますか。	A	A	→		A=94.1% B+=5.9%
		「愛の1・2・3+1」の確実な実施、保護者や関係機関との密な連携を図る	A		本年度は、日ごろの連絡や相談にもとづいて家庭と学校との連携が図れましたか。	B+						
	考え・議論する道徳教育の推進	道徳科の趣旨・内容を踏まえ、考え、議論する道徳へ授業改善を図る	A	A			どうとくのじゅぎょうの中で、友だちと話し合うことがありますか	A	A	→		A=100%
		「熊本の心」「つなぐ～熊本の明日へ～」の活用と授業公開を推進する	A				どうとくのじゅぎょうで、くまもとのおはなし（むかしばなしやくまもとじしんについて）で学習することがありましたか。	A				
	環境教育の充実	生活目標と関連させ、ESDや学校版環境ISOの取組を推進する	B+	B+	本年度、お子様は日ごろ、節電や節水に心がけていますか。	A	日ごろの学校生活でせつでんやせつすいに心がけていますか。	A	B+	→		A=68.7% B+=18.8% B=12.5%
		校舎内・外の環境美化及び無言清掃指導を推進する	A				じぶんのみのまわりのせいりや、そうじをがんばっていますか。	A				
健康教育の推進	体力の向上とスポーツに親しむ習慣の育成	身につけさせたい力を明確にし、運動量が確保された体育科の授業の充実を図る	A	A			たいいくのじゅぎょうではうんどうのめあてをりかいしてうんどうしていますか。	A	A	→		A=87.4% B+=6.3% B=6.3%
		外遊びの奨励及び縦割り班、学級等集団遊びの時間の設定等を行う	B+				学級でそとあそびをすることがありましたか。	A				
	児童の主体性を土台とした健康教育の推進	健康診断結果の事後措置の徹底（特にう歯治療率の向上のための取組の工夫）を図る	A	A	健診で見つかった病気や虫歯は治療できましたか。	B+	けんこうしんだんで見つかったびょうきや虫歯はどうしましたか。	A	A	→		A=76.5% B+=5.9% B=17.6%
		家庭と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」運動を推進し、望ましい生活リズムの定着を図る	A		本年度は、ほぼ決まった時間の食事と十分な睡眠は規則的にとれていますか。	B+	ねる時間や起きる時間、ごはんの時間はきまっていますか。	B+				
	安心安全な環境づくりと安全教育の推進	危険予測学習を丁寧に行い、危険予測能力・危険回避能力の育成を図る	A	A	本年度子どもたちは危険な場所で遊んだり、危険な遊びをしていませんか	B+	どうろなどのきけんな場所であそんだり、きけんなあそびをしていませんか	A	A	→		A=94.1% B=5.9%
		中学校や関係機関、保護者と連携した防災教育を展開し、防災の意識と実践力を育成する	A		6月に実施した水難引き渡し訓練は、いざというときの意識を高める効果がありましたか。	B+						
		感染防止に向けた環境づくりとwithコロナの生活習慣形成を図る	A		お子様は、コロナウィルス感染症の感染防止に向けた行動が習慣化していますか。	A	コロナウィルスにかんせんしないようにすることができていますか。	A				
人権教育・啓発の推進	人権教育の推進	年間計画に基づき、確実かつ心に響く人権学習を推進する	A	A					A	→		A=100%
		言語環境等人権尊重の精神がみなぎる環境づくりを行う	A		本年度、お子様は、相手や周囲の人の気持ちを考えた言葉遣いをしていますか。	B+	友だちと話すとき、あいてやまわりの人の気持ちを考えたことばづかいをしていますか。	A				
		研修を充実し、教職員の基本的認識の確立、実践的指導力の向上を図る	A									
	反差別の仲間づくりによるレジリエンスの向上	発表や集会活動、学級会活動を工夫し互いの思いや考えを伝え合うコミュニケーション力の向上を図る	A	A			クラスの係かつどうや、じゅぎょうのはんかつどうで話し合いをしましたか。	A	A	→		A+=5.9% A=94.1%
		学級会活動を計画的に実施し、民主的な学級集団での仲間づくりを推進する。	A				がつきゅうかいはどのくらいひらきましたか	B+				
特別支援教育の充実	特別支援教育の充実と授業のUD化	困り感をもつ児童の実態把握・情報共有と適切な合理的配慮の工夫を行う	A	A					A	→		A=100%
		ユニバーサルデザインの視点に基づく焦点化・視覚化・共有化の工夫を行う	A									
		保護者、専門機関・関係機関等と積極的に連携し、効果のある支援を行う	A									
	教育課程特別校											
教育課程特別校	主体的な学び	児童の英語の学習に対する主体的を引き出すことができた	A	A	お子様は、英語の学習が好きですか。	B+	えいごをがくしゅうすることは好きですか	B+	A	→		A=76.4% B+=11.8% B=11.8%
	主体的な対話	児童の英語を話すことについての抵抗感を少なくすることができた	A		お子様は、英語に対する関心が高いですか	A	えいごをはなすことをにがてにかんじることがありますか	B+				